

1. 「TPP等関連政策大綱」に基づく農地の更なる大区画化等の政策の推進:942億円(公共:902億円、非公共:40億円)

公共事業

農地の更なる大区画化・汎用化の推進(348億円)

担い手の米の生産コストを大幅に削減するため、農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化・合理化のための整備を推進



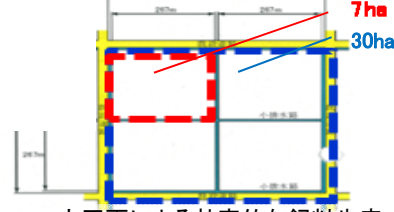
水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進(518億円)

高収益作物を中心とした営農体系への転換のため、水田の畑地化・汎用化、畑地・樹園地の高機能化を推進



畜産クラスターを後押しする草地整備の推進(36億円)

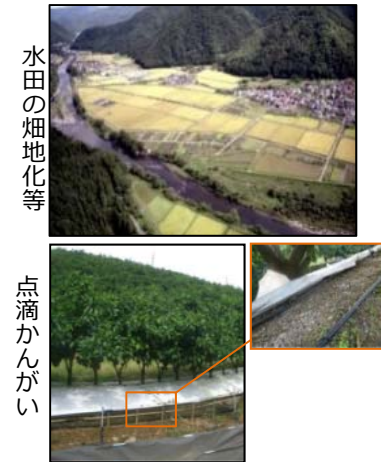
畜産クラスターの取組を加速化し、効率的な飼料生産の一層の推進のため、草地の大区画化等の基盤整備を推進



非公共事業

中山間地域所得向上支援事業(40億円)

中山間地域所得向上計画に基づき、水田の畑地化や、客土等の簡易な整備を含む農地整備、畑地かんがい施設等の水利施設の整備等を推進



2. 重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策:546億円

(農業農村整備事業:511億円、農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備事業分:35億円)

平成30年7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震等の被害を受け、全国重要インフラ緊急点検や全国ため池緊急点検を実施。これら点検結果等を踏まえ、ため池や農業水利施設等の強靱化のための緊急対策を実施する(農業農村整備事業及び農山漁村地域整備交付金で実施)。

農業水利施設の緊急対策

被災状況(地震・豪雨)

重要インフラ、ため池の緊急点検結果

ダム洪水吐の被災(厚真ダム)

平成30年北海道胆振東部地震

ため池の決壊

平成30年7月豪雨

耐震照査の結果、橋脚部が耐震不足であることが判明

緊急点検の結果、ため池法面の崩壊を確認

非常時電源の確保

非常用電源設備の設置

施設の耐震化

耐震化後の頭首工堰柱

水路改修

改修後の排水路

耐水対策の整備

耐水扉の設置

ため池の緊急対策

整備前

ため池の整備

整備後

ため池の廃止

堤体を開削

洪水を安全に流下

農地の更なる大区画化・汎用化の推進 <公共>

【平成30年度第2次補正予算額 34,800 百万円】

<対策のポイント>

農地中間管理事業の重点実施区域等において、**担い手への農地集積・集約化を加速化**し、米の生産コストの早期かつ大幅な削減等のため、**農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等のための整備**を推進します。

<政策目標>

担い手の米の生産コストが9,600円/60kgを下回り、かつ、同コストがおおむね10%以上削減されることが見込まれること

<事業の内容>

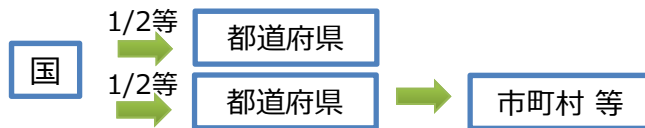
農地の大区画化・汎用化の推進

米の生産コストの早期かつ大幅な削減等のため、農地の大区画化や排水対策等を推進します。

<主な工種>

区画整理、暗渠排水、農業用排水施設整備 等

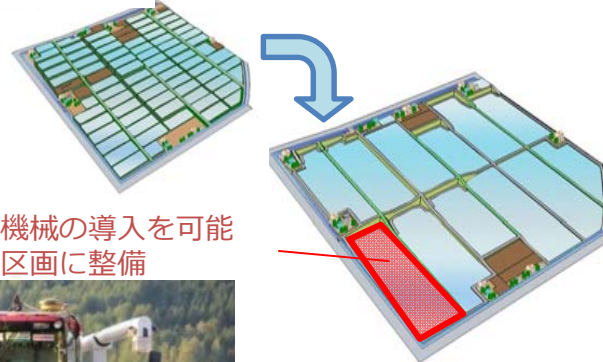
<事業の流れ>



※事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等

<事業イメージ>

<整備後のイメージ>

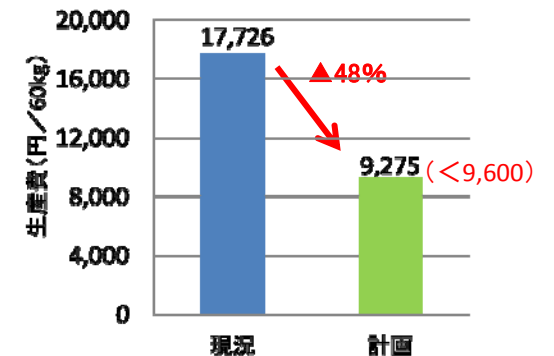


大型農業機械の導入を可能とする大区画に整備



<効果（米の生産コストの低減（円/60kg）>

担い手の米の生産コスト



※対策地区(362地区)における目標値(計画値)の平均値

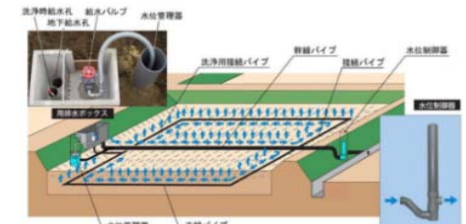
水管理の省力化・合理化を可能とするパイプライン化、地下かんがいを推進



末端給水栓



パイプライン化



地下かんがい

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2208)

水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進 <公共>

【平成30年度第2次補正予算額 51,800 百万円】

<対策のポイント>

高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、平場・中山間地域等における排水改良等による水田の畑地化・汎用化、区画拡大や畑地かんがい施設の整備等による畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を推進します。

<政策目標>

作物生産額に占める高収益作物の割合がおおむね8割以上となり、かつ、高収益作物に係る生産額がおおむね10%以上増加すること
作物生産額に占める高収益作物の割合がおおむね5割以上となり、かつ、高収益作物に係る生産額がおおむね50%以上増加すること
※主食用米を除く作物生産額を対象とする。

<事業の内容>

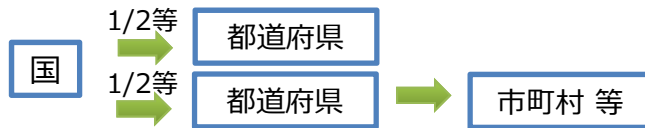
水田の畑地化・汎用化、畑地・樹園地の高機能化等の推進

高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、水田の排水改良や、畑地・樹園地の区画拡大・畑地かんがい施設の整備等を推進します。

<主な工種>

区画整理、暗渠排水、農業用排水施設整備 等

<事業の流れ>



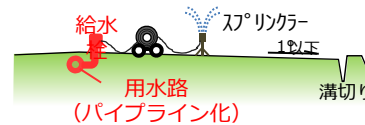
※事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等

<事業イメージ>

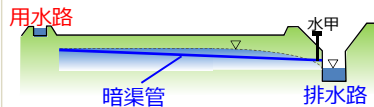
<水田の畑地化・汎用化>

水田に野菜等を導入できるように排水改良を行い、かんがい設備を整備

○畑地化のイメージ

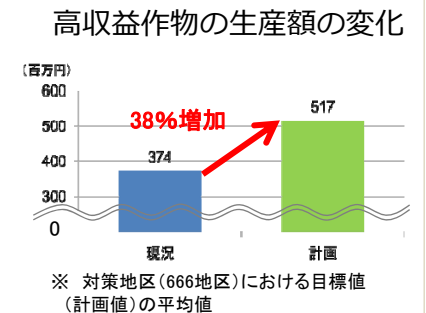
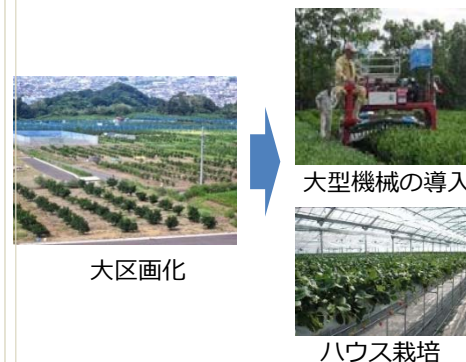
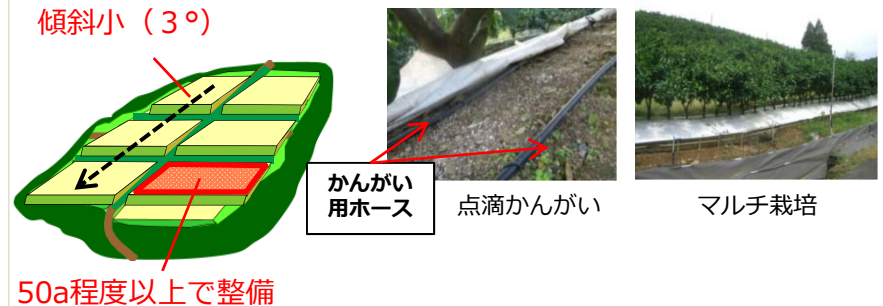


○汎用化のイメージ



<畑地・樹園地の高機能化>

○みかんのマルチドリップ灌漑



【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2208)

畜産クラスターを後押しする草地整備の推進 <公共>

【平成30年度第2次補正予算額 3,600 百万円】

<対策のポイント>

畜産クラスター計画を策定した地域において、地域ぐるみの効率的な飼料生産を一層推進するため、収穫作業等の受託や大型機械化体系に対応した草地整備を推進します。

<政策目標>

飼料作物の単位面積当たりの収量が25%以上増加するよう草地の整備等を推進

<事業の内容>

1. 大型機械化体系に対応した草地整備

大型機械による効率的な飼料生産を一層推進するため、草地・畑の一体的整備、草地の大区画化、排水不良の改善等を推進

(主な工種：区画整理、暗渠排水 等)

2. 家畜糞尿を活用した肥培かんがい施設の整備

家畜ふん尿を発酵しスラリーとして有効活用するための肥培かんがい施設等の整備を推進

(主な工種：肥培かんがい施設、排水施設 等)

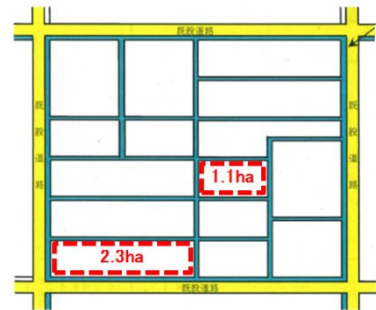
3. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による草地の湛水被害等に対処する整備を推進

(主な工種：整地、暗渠排水、排水施設 等)

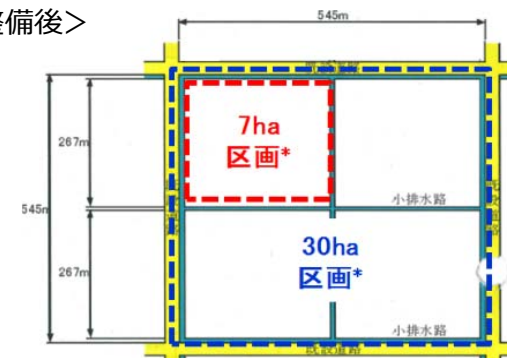
<事業イメージ>

<整備前>



現況の自然水路に合わせて整備

<整備後>



大区画による効率的な飼料生産

※小排水路が不要な地区は30ha区画、小排水路が必要な地区は7ha程度の区画



個人所有の農業機械による作業



山成に合わせて整備

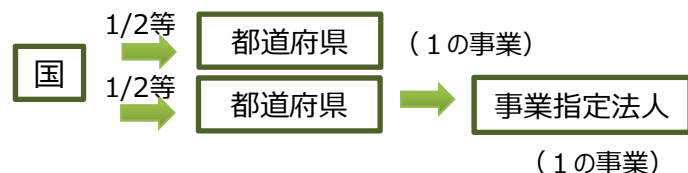


大型作業機械による作業



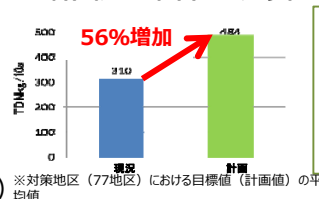
生産性向上のため、緩傾斜に整地

<事業の流れ>



事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等(1、2、3の事業)

飼料作物の単位面積当たり収量



※対策地区(77地区)における目標値(計画値)の平均値

* TDNとは、飼料作物中の可消化養分のことをいい、TDNkg/10aは栄養価ベースの収量を指す

- ・飼料生産コストの低減
- ・地域ぐるみの収益性向上に大きく貢献

【お問い合わせ先】

- (1の事業) 生産局飼料課 (03-6744-2399)
- 農村振興局農地資源課 (03-6744-2207)
- (2の事業) 農村振興局水資源課 (03-3502-6244)
- (3の事業) 農村振興局防災課 (03-3502-6430)